

参考資料

- ❖ 令和２年度地域包括支援センター業務自己評価
(参考資料 1-1、1-2) P. 1～6
- ❖ 指定介護予防支援業務等の委託状況及び介護予防給付サービス等事業所
利用状況 (参考資料 1-3) P. 7～11
- ❖ 地域密着型施設の入所状況 (参考資料 1-4) P. 12
- ❖ 各地域包括支援センター令和２年度事業報告 別冊
- ❖ 江別市医療機関ガイドブック 別冊

令和2年度地域包括支援センター業務自己評価

参考資料1ー1

【1. 全体運営方針に係る評価】

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
関係機関との連携	市と共同で開催する全体会、管理者会議、三職種部会などの会議において、主体的・積極的に情報提供及び提言を行っている。	4	各種会議にて圏域の状況や把握している内容について情報提供している。各部会においても今後の方向性などを提言している。	4	全体会、管理者会議、三職種部会等の会議を通して、担当圏域における情報提供及び課題等を報告し、積極的に連携を図っている。	4	会議へ主体的に参加し、積極的に情報提供や提言を行った。	4	管理者会議、部会等の会議において情報提供や意見を述べている。
	地縁組織や関係機関の会議等に積極的に参加し、多様な主体とのネットワークを構築している。	3	コロナ禍の影響により地域の各種会議等はなくなり、前年に比べ大きく減少。センターの前年度の動向について圏域の自治会長に手紙を用い報告した。	3	関係機関との会議参加等は、前年度に比べて減少した。地域ケア会議及び個別ケース対応等を通して、多様な関係者とのネットワーク構築を行った。	3	コロナ禍のため関係機関の会議が中止となり、参加できなかった。ネットワーク構築については、通いの場交流会を開催し、再開に向けた支援ができた。	4	みのりの丘の大麻地域創造会議に参加、高齢者クラブななかもど宮町、蛭雪会に定期的に訪問し関係構築を図った。
公正性・中立性の確保	居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所の紹介等にあたって、公正・中立を厳正に保っている。	4	介護状況に適した事業所を紹介できている。居宅・サービス事業所とも紹介率に偏りなく、ほぼ全てのサービスで特定の事業所への集中割合は低減。	3	居宅サービス事業所及び居宅介護支援事業所の紹介は、利用者の意向確認を行い、公正・中立の立場で業務を行っている。	4	利用者の希望やニーズに合わせ、複数の事業所を紹介し、選択してもらっている。	4	利用者や家族の意向を確認しながら紹介している。また紹介先一覽表を作成し、職員が情報を共有することで紹介先が偏らないようにしている。
認知度の向上	高齢者、地域住民及び多様な主体における地域包括支援センターの認知度を向上させている。	3	総合相談件数が前年度に比べ大幅に増加。地域の各関係者からの相談も多く、認知度向上を実感できた。新規取り組みやアンケートは実施できず。	3	認知度向上に向けた新規の取組はできなかった。民生委員等の相談件数は増加しており、通常業務を通して、地域関係者への認知度は向上した結果と考える。	3	コロナ禍の中、感染症予防対策を取りながら、野幌南地区民生委員や野幌地区高齢者クラブ連合に周知活動を行った。	3	高齢者クラブや通いの場を訪問し交流を図った。出前講話時や関わりのある高齢者に対し、困りごとを抱えている人がいた場合、包括に連絡をするように促した。
運営体制の整備及び機能の強化	江別市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を順守している。	4	三職種は4年間変わらず同職員を配置し安定。三職種のプラン件数も管理でき、月単位で上限を超過月もなかったが年間平均で29.97名と順守できた。	4	職員体制の変更に伴い、市に助言を受けながら、義務付けられている三職種の人員配置を順守している。三職種のプラン件数の上限を順守した。	4	三職種の人員配置の規定やプラン件数の上限を順守している。	3	人員配置の規定は順守しているが、コロナ禍のため引継ぎがスムーズに行うことが出来ず、上限を超えた月はあったが年間を通して上限は順守した。

運営体制の整備及び機能の強化	配置された三職種が個々の専門性を生かし、センター内外の専門他職種と連携及び情報共有を図る体制を整備している。	3	各種研修会や学習会の中止により、参加回数は激減。オンライン研修は出来る限り参加。居宅介護支援事業所の事例検討会に参加した。	3	外部研修及び会議等への参加は、前年度より減少した。専門他職種との連携及び情報共有に関しては、地域ケア会議及び通常業務を通して、ネットワーク強化を図った。	3	コロナ禍で外部研修は減ったが、オンラインの研修に参加するよう努めた。研修内容は職員間で情報共有した。	3	コロナ禍で研修や会議等の開催が少なかったが、積極的に研修に参加しスキルアップを図った。また会議等にも参加し情報の共有、関係の強化を図った。
運営体制の整備	緊急時連絡網や危機管理マニュアル等の策定、情報管理の徹底などの体制を構築し、適正に運用している。	4	法人内で緊急連絡網等を都度見直し、最新の情報に更新している。感染症予防マニュアルを整備し、適正に運用している。	4	緊急時、災害時に関する管理体制に関して、定期的に運用の見直しを図った。PCには、職員IDやパスワードを設け、書類等は施錠出来る書庫で管理している。	4	新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成した。PCは、職員IDやパスワードを設定し、書類は施錠できる車庫に保管している。	4	個人の携帯電話や会社で一人一人携帯電話が支給されているので、それらを使用し連絡がとれる体制がある。個人情報情報は鍵付き書庫にて管理している。
PDCAによる機能強化	運営状況の検証を常時行うとともに、外部機関の評価や意見を踏まえ、PDCAサイクルによる改善や機能強化を行っている。	4	法人内の理事会・評議員会のほか、定期的に法人運営管理責任者に現状や課題について報告し意見聴取しており、日常業務を見直している。	4	運営方針に基づいて、業務自己評価を行っている。市及び法人本部に運営状況の報告を適宜行い、助言を得ながら、改善等を行っている。	3	スタッフ全員で事業計画の作成、自己評価を行い、次年度の事業計画に反映させている。江別市介護保険事業等運営委員会に報告を行い、必要な協議をしている。	3	上半期終了後に業務自己評価を行い、運営状況の把握、見直しを行っている。外部からの意見があった時は職員間で話し合い改善に向けて取り組んでいる。

【2. 個別取組方針に係る評価】

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
総合相談	総合相談窓口としての機能を適正に発揮するとともに、苦情・要望等に対して真摯に対応し、解決まで責任を持って対応している。	3	総合相談件数は延べ3000件を超え、前年度より大きく増加。総合相談窓口としての知名度が向上したと判断。苦情は全職員で共有し管理者が対応した。	3	総合相談には、迅速な対応を心がけ、相談しやすい体制整備に努めた。苦情対応は、責任者を定め、苦情処理マニュアルを作成し対応した。	4	待機当番の配置、土曜日の終日営業、休日・夜間の電話対応等相談しやすい体制を整備している。苦情受付担当者を配置し、情報を共有している。	4	出前講話や通いの場を訪問した時に、センターの役割について説明している。苦情等に対し管理者を責任者に定め対応している。
権利擁護	高齢者虐待などの権利侵害の未然防止・早期対応に取り組み、関係機関等と連携して事態の解消に結びつけている。	4	7件の高齢者虐待疑いの通報に対応。うち2件が虐待と判断された。警察署や精神科病院とも協働し、解消されるまで中心的な役割を担った。	4	随時、市役所に報告相談して連携を図り、必要時は訪問するなど早期対応に努めた。高齢者虐待対応の際は、関係機関と同行訪問を行い、事態の解消に向けて支援した。	3	高齢者虐待等の相談には、関係機関等と連携して事態の解消に努めた。	4	地域住民や関係機関から相談に対し関係機関と連携を図りながら対応した。また消費者被害に遭わないように出前講話を行ったり、チラシを配布した。
権利擁護	江別市成年後見支援センターを始めとした権利擁護に関する支援機関や専門職等との連携体制を構築し、権利擁護を推進している。	4	成年後見支援センターと役割分担について連絡を取り合い、必要な情報を提供した。生活困難者の支援でも関わりのある担当者と同行訪問を繰り返した。	4	江別市成年後見支援センターとの連携や情報交換に努め、必要に応じて同行訪問を行い3件の成年後見制度申立に繋がった。	4	成年後見制度に関する相談6件に対応した。勉強会等を通して、成年後見支援センター等支援機関と連携に努めた。	4	研修に参加しスキルアップを図った。また成年後見支援センターの職員と情報交換を行うことで関係の強化を図った。
介護支援専門員に対する支援・指導	介護支援専門員のニーズに基づいた対応力向上や医療・介護連携を支援するとともに、自立支援の共有及び浸透を図る支援をしている。	4	居宅介護支援事業所からの要請を受け、後方支援だけでなく同行・代行訪問を行った。主任介護支援専門員部会で自立の定義化を目指し活動。	4	介護支援専門員のニーズに基づき、スーパービジョンの手法にて、医療との連携支援等を行った。主任CM部会の活動を通し、自立支援に関する研修会等を開催した。	4	介護支援専門員のニーズに基づいた支援を21ケース行った。自立支援の共有及び浸透を図った研修会や事例検討会を開催した。	4	相談内容によってはケース会議を開催し一緒に支援方法について検討している。またONEひーすの会を開催し困難ケース以外に自立支援に向けた検討会を行った。
介護予防ケアマネジメント	高齢者の課題の把握・分析や目標設定を適切に行うとともに、インフォーマルな支援も活用した総合的なマネジメントを行っている。	4	全件期間を定め、目標に対する評価を定期的に行った。相談・アセスメント段階より家族や地域内の力を視野に入れ計画立案を心がけた。	4	利用者のニーズを踏まえ、期間を定めた目標を設定し、その取組の中で、インフォーマルな地域の資源にも目を向け、ケアプランに取り入れた。	4	ケアプランは、期間を定めた目標を設定している。インフォーマルな支援もケアプランに組み込んでいる。	4	最長でも1年間の期間で目標を設定しモニタリング 評価を行った。インフォーマルな支援を念頭に利用者が家族に説明を行った。
介護予防事業	地縁組織との連携等により介護予防講座の参加者を増加させるなど、介護予防に関する正しい理解の普及啓発を促進している。	3	介護予防講座は新型コロナウイルス感染症予防により多くが中止となったため、ほぼ開催できず。フレイル予防のリーフレットを作成し普及啓発に努めた。	3	介護予防に関する講座の参加者数は、昨年度に比べて減少した。市のフレイル予防リーフレット作成への協力を積極的に行った。	4	コロナ禍の中、感染症予防対策を取りながら、介護予防講座を2コース、介護予防出前講話を2回実施。フレイル予防リーフレットを新たに作成した。	3	講座の回数は減ったが既存団体への声かけや周知により参加者数は維持できた。新規事業としてフレイル予防のリーフレットを作成したほか、自宅でできる体操を促した。

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
介護予防事業	介護予防サポーターの活用やリハビリテーション専門職との連携により、地域における社会参加と介護予防・健康づくりの機会を拡大させている。	4	通いの場の継続開催を目指し、屋外での活動や場所の変更などを提案・調整し、可能な限り、社会参加の場を維持できるように取り組んだ。	3	介護予防に資する通いの場に対して、新型コロナウイルス感染症予防の観点で活動再開について、代表者等と話し合うなどの支援を行った。	3	コロナ禍で通いの場の再開に向けた支援を行った。	3	専門職派遣が中止となり予防や健康づくりの働きかけが減少したが、フレイル予防や通いの場について、の講話や通いの場交流会、ミニフォーラムを開催した。
医療介護連携	江別市医療介護連携協議会の取組みに積極的に参画するなど、医療と介護の連携構築に主体的な役割を果たしている。	3	推進協議会委員を担った。感染予防対策により研修会などの取組自体が中止となり、連携については具体的な取組は行えず。	4	お薬手帳連携シートの普及啓発に努めた。医療機関との入退院時の情報提供を年間45件行い、スムーズな入退院の連携に努めた。	3	江別市医療介護連携推進協議会の研修会等の活動は中止となった。コロナ禍でできる連携として、お薬手帳連携シートを活用した。	3	入退院時にMSWと情報の共有、連携を図っている。
生活支援体制整備	地域資源等の情報を可視化するとともに、協議体への提言などから、高齢者の社会参加と支え合いの体制づくりを行っている。	4	圏域の地域資源の情報資源シートを作成し可視化。現状や課題について第1層生活支援コーディネーターと情報共有を図った。定期的な共有方を提案。	4	担当圏域内サロン等6団体に対して、交流会を開催し、活動状況及び課題の共有を行った。6件地域資源情報シートを作成し、地域の社会資源について、可視化した。	4	コロナ禍であったが、地域フォーラムを8回、支え合い出前講話を2回実施。地域資源情報シートを28自治会作成し、可視化や関係づくりに努めた。	4	地域資源マップを作成し、それをもとに情報交換を行ったり協議体設置に向け、参加の相談をした。通いの場交流会を開催し情報交換を行った。
認知症に関する総合支援	認知症サポーター養成講座等による普及啓発に取り組みとともに、認知症地域支援推進員等と連携して地域の支援体制整備に取り組んでいる。	3	人数制限がある中、サポーター養成講座への協力を行っている。地域から認知症についての講話依頼がある際は、説明素材を見直しながら実施した。	3	コロナ禍のため、認知症サポーター養成講座は開催できなかった。認知症地域支援推進員参加の地域ケア会議において、地域の支援体制整備を行った。	3	コロナ禍のため、認知症サポーター養成講座は取り組めなかったが、認知症講演会やVR研修に参画し、支援体制整備に努めた。	3	認知症地域支援推進員と認知症高齢者探索模倣訓練の意見交換を行った。サポーター養成講座を実施することは出来なかったが来年度の依頼はあった。
認知症に関する総合支援	認知症初期集中支援チーム及び医療機関と連携し、認知症の早期発見・早期対応に積極的に取り組んでいる。	4	認知症初期集中支援チームに2件依頼。推進員との同行訪問など、解決に向けて協働した。地域ケア会議内で具体的な役割分担等を決め支援した。	4	地域や医療機関からの情報提供により訪問し、受診同行や介護保険の代行申請を行うなど認知症の早期発見・対応に努めた。認知症初期集中支援チームに1件相談した。	3	認知症に関する相談の際、医療機関等との連携や地域ケア会議・ケース会議等の実施で、早期発見・早期対応に努めた。	3	心配な高齢者の相談や家族からの認知症に関する相談に対し、必要に応じて関係機関と連携を図ったが、チームに相談するケースはなかった。
地域ケア会議	センターが主催する医療機関、専門職、家族や住民等による地域ケア会議を通じて、高齢者を支援する体制づくりを行っている。	4	個別課題による地域ケア会議は6件と前年度回数を上回る。家族・行政機関や民生委員も交えて開催し、課題解決にむけて協働した。	4	地域ケア会議を6回開催。病院・社協・行政等と連携を図り、そのうち2ケースでは再評価のため2回目の会議を開催し、継続的に連携体制を構築している。	4	地域ケア会議を6回実施し、関係者間の継続的な連携体制を構築した。	4	地域ケア会議を開催することで支援内容の確認、情報の共有等を図ることができた。

区分	評価項目	江別第一地域包括支援センター		江別第二地域包括支援センター		野幌第一地域包括支援センター		大麻第一地域包括支援センター	
		評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況	評価	評価根拠・取組状況
地域ケア会議	市が主催する自立支援型地域ケア会議に積極的に事例提供を行い、自立に向けた支援を実践している。	3	自立支援型地域ケア会議の開催自体がなくなり、事例提供機会がなかった。前年度に意見をもらった点は参考にしながら実践・評価し支援を継続。	4	自立支援型地域ケア会議に積極的に参加し、事例を提供した。会議後は、助言を受けて実践し結果について評価、モニタリングを行った。	4	コロナ禍で中止となり、会議は少なかったが、事例やモニタリング事例を提供している。	4	事例提供とモニタリング、またSCとして社会資源等の情報を提供した。会議に参加し自立に向けた支援方法や考え方を聞くことでスキルアップを図った。
地域ケア会議	地域ケア会議等を通じて抽出・把握した地域課題を、生活支援体制整備事業と連携して課題解決に向けた提言や取組を行っている。	4	通いの場の継続のため、場所の変更、話し合いの機会を持った。予約方法など行政の協力を得ることができた。都度、圏域の課題は抽出し把握。	3	呼び寄せ同居、障がい者との同居、認知症に関する普及啓発等が地域課題であると把握し、杜協・障がい者支援センターや民生委員等と情報共有した。	4	地域ケア会議や地域課題の事例検討会を行い、センター内で情報共有し、SCの集まりで提言している。	2	地域課題を把握しつつある状況で、ミニフォーラムを行った団体とは共有できているが、行えていない団体数が多い。そのため事業との連携まで至っていない。

【3. 独自項目】

項目	江別第一地域包括支援センター	江別第二地域包括支援センター	野幌第一地域包括支援センター	大麻第一地域包括支援センター
(1) 独自に取り組んでいること、特に重要視していること、取り組んでいることなど、記入する。	1. 圏域の自治会長に連絡し、コロナ禍での自治会の活動状況や地域資源について確認した。また、同時に前年度の地域包括支援センターの活動状況をまとめた資料の送付に承諾いただき、地域包括支援センターの役割・実績について情報提供を行った。 2. コロナ禍で「通いの場」の場所が借りれなくなったため、屋外での活動内容を新たに考え実践した。また、他のサークル活動については次年度以降の開催場所の確保ができなくなるため、新たな活動場所の確保について第一層生活支援コーディネーター・行政や指定管理者と協議した。 3. センター内で担当している要支援認定者への支援について、定期的に事例検討会を行った。	個別相談業務及び包括主催の個別事例検討型地域ケア会議を通して、多種・他機関との連携を図り、高齢者を支援する体制づくりに向けて、ネットワーグ強化を図っている。	①地域とつながる活動 ②通いの場の再開支援 ③職員のスキルアップを兼ねた事例検討会	①大麻文京台まちづくり協議会と連携を図り、地域包括ケアシステムについて意見交換、地域の把握に努める。 ②大麻文京台地区にある大学との連携。 ③高齢者クラブや通いの場等の既存の団体との関係構築。 ④利用者様やご家族様に介護保険以外のサービスの提案と自立支援について説明。
(2) (1)により得られた効果など、取組の評価を記入する。	1. 自治会単位で直接連絡し、現状を把握したうえで地域包括支援センターの知名度向上に繋がるように活動できた。 2. コロナ禍であっても内容を変えたり、活動場所を変更する事により、通いの場の継続やフレイル予防につながることができた。 3. 事例検討会を行い意見交換を行う事により、新たな気づきもあり支援方法や内容について修正しながらマネジメントを実践できた。	包括主催の個別事例検討型地域ケア会議を6回開催し、個別相談を通して、「8050問題」「呼び寄せ同居」「障がい者との同居」「認知症に関する普及啓発」等が地域課題であると把握した。複合及び複雑な課題を抱えている事例が多く、その解決のために、行政、医療、障がい、介護等の多様な関係者・関係機関、当事者などの様々な出席者と協議することができて、ネットワーグの強化を図ることができた。	①コロナ禍により地域で集まることが困難になったため、地域とつながる活動に方向転換した。各自治会の活動等を開き取り、地域資源情報シートで28自治会の可視化とともに、関係づくりができた。 ②通いの場交流会を開催し、通いの場を再開するきっかけづくりができた。 ③支援困難ケースや地域課題を感じるケースの事例検討会を47回実施し、経験の浅い職員のスキルアップにつながった。	①コロナ禍のため、昨年度のように毎月集まり意見交換は行えなかったが、新たな通いの場の必要性について確認できた。 ②大学生との共同企画、多世代交流の場が新型コロナウイルスの感染予防を考え、実施できなかった。 ③昨年引き続き、第二回カーリンコン地域交流大会に参加、高齢者クラブに定期的に訪問し一緒に体操や趣味活動に参加した。新たな団体と交流を図ることができたので、来年度企画する通いの場交流会への参加を促す予定。 ④評価に値するまでは至っていないが、数は少ないものの本人、家族に自立について考えてもらえるようになってきた。

指定介護予防支援業務等の委託状況

【 令和2年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントA委託先事業所及び件数 】

※件数は令和2年度における総件数

江別第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	わかくさ指定居宅介護支援事業所	79	12.4	圏域内の事業所であり、新規前倒し利用で要支援と要介護認定が微妙な利用者の対応を行ってもらえる。また、地域包括支援センター窓口で直接相談に来た要介護認定者への支援に、ワンストップで対応できる環境にあるため。
2	ケアプランセンター雪の華	73	11.4	
3	ケアプランセンターみのりの丘	59	9.2	
4	のぞみ指定居宅介護支援事業所	51	8.0	
5	ケアプランセンター結の音	51	8.0	
-	その他の事業所	325	50.9	

江別第二地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	のぞみ居宅介護支援事業所	132	25.1	昨年度からの継続ケースが多いことや、近隣からの知名度が高く、利用者からの依頼も多いため
2	ケアプランセンター結の音	69	13.1	
3	えべつ英生会ケアプランセンター	61	11.6	
4	ケアプランセンター雪の華	58	11.0	
5	ケアプランセンターれんがの森	51	9.7	
-	その他の事業所	155	29.5	

野幌第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	ケアプランセンターこはる	135	10.0	1位は事業所が関わっている要支援のケースについて、事業所側から担当の申し出があったため。2位以下は、申請中でも暫定ケアプランで対応してくれるため。
2	静苑ホーム居宅介護支援事業所友愛野幌	117	8.7	
3	ケアプラン相談センターおおあさ	106	7.9	
4	在宅介護相談えべつ英生会ケアプランセンター	103	7.6	
5	はるにれ居宅介護支援事業所	97	7.2	
-	その他の事業所	789	58.6	

大麻第一地域包括支援センター

順	居宅介護支援事業所名称	件数	(%)	件数が最も多い事業所の選択理由
1	ケアプラン相談センターおおあさ	171	18.0	ケアマネジャーの人数が多く、また男性女性の職員が複数名いるので、相談しやすい。暫定プラン作成時に要支援認定がおりても、そのまま担当になってくれる。土曜日の営業をしている事業所で、家族の希望に対応できた。
2	ひだまり居宅介護支援事業所	121	12.7	
3	いきいきセンター指定居宅介護支援事業所	109	11.4	
4	介護まるごと相談室	91	9.6	
5	葵の園・江別居宅介護支援事業所	77	8.1	
-	その他の事業所	383	40.2	

介護予防給付サービス等事業所利用状況

【 1 介護予防訪問介護・第1号訪問サービス】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	ヘルパーステーションわかくさ	39	66.1	1	ヘルパーステーションわかくさ	32	68.1
2	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	5	8.5	2	ヘルパーステーションいきいき	3	6.4
3	ヘルパーステーションまごころ	5	8.5	3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	3	6.4
4	ヘルパーステーションいきいき	3	5.1	4	いろはケア江別駅前	3	6.4
5	いろはケア江別駅前	3	5.1	5	ヘルパーステーション結の調	2	4.3
-	その他の事業所	4	6.8	-	その他の事業所	4	8.5
件数が最も多い事業所の選択理由				要支援認定者の受入れを積極的に行っており、ホームヘルパーの人数も多く柔軟に対応してくれている。また、個別支援に配慮がなされている。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	誠志苑ヘルパーステーション	12	24.5	1	ヘルパーステーションわかくさ	13	26.5
2	ヘルパーステーションわかくさ	11	22.4	2	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	11	22.4
3	いろはケア江別駅前	8	16.3	3	いろはケア江別駅前	8	16.3
4	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	6	12.2	4	ヘルパーステーション結の調	7	14.3
5	ヘルパーステーション結の調	6	12.2	5	ヘルパーステーション東光	5	10.2
-	その他の事業所	6	12.2	-	その他の事業所	5	10.2
件数が最も多い事業所の選択理由				ヘルパー職員数が多く、利用者の希望日や時間の調整がしやすい。利用状況について随時報告があり、やりとりがしやすいため。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	47	49.0	1	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	41	45.6
2	ヘルパーステーションおおあさ	14	14.6	2	ヘルパーステーションおおあさ	14	15.6
3	ヘルパーステーションわかくさ	8	8.3	3	ヘルパーステーションわかくさ	8	8.9
4	ヘルパーステーションげんき	6	6.3	4	ヘルパーステーションげんき	8	8.9
5	萌えぎ野西ヘルパーステーション	6	6.3	5	萌えぎ野西ヘルパーステーション	6	6.7
-	その他の事業所	15	15.6	-	その他の事業所	13	14.4
件数が最も多い事業所の選択理由				総合事業のヘルパーを断る事業所も見られる中、柔軟に受け入れてくれる。			

大塚第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	株式会社健康会ヘルパーステーションおおあさ	59	55.7	1	株式会社健康会ヘルパーステーションおおあさ	58	58.0
2	ヘルパーステーションいきいき	19	17.9	2	ヘルパーステーションいきいき	16	16.0
3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	8	7.5	3	静苑ホームヘルパーステーション友愛野幌	9	9.0
4	ヘルパーステーションまごころ	5	4.7	4	SOMPOケア札幌青葉	5	5.0
5	SOMPOケア札幌青葉	5	4.7	5	ヘルパーステーションおもてなし	4	4.0
-	その他の事業所	10	9.4	-	その他の事業所	8	8.0
件数が最も多い事業所の選択理由				他の事業所では受け入れ、調整が難しくても、希望の日時で調整してくれる。介護保険外のサービスを依頼するときの料金が安く頼みやすい。事業所が近い。連携が図りやすい。			

【 2 介護予防通所介護・第1号通所サービス】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	デイサービスきたえる〜む野幌	34	17.0	1	デイサービスきたえる〜む野幌	32	17.1
2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	28	14.0	2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	28	15.0
3	デイサービスセンターわかぐさ	24	12.0	3	デイサービスセンターわかぐさ	27	14.4
4	デイサービスセンター花こぶし	22	11.0	4	デイサービスセンター花こぶし	18	9.6
5	デイサービスセンターゆあみ茶屋	16	8.0	5	デイサービスセンターゆあみ茶屋	15	8.0
-	その他の事業所	76	38.0	-	その他の事業所	67	35.8
件数が最も多い事業所の選択理由				介護予防に特化した運動プログラムが準備されており、利用定員を増やし対応してくれた。利用時間も要支援認定者のニーズに適したケースが多い。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	15	12.7	1	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ	13	11.7
2	デイサービスセンターのぞみ	14	11.9	2	デイサービスセンターわかぐさ	10	9.0
3	江別ケアパークそよ風	12	10.2	3	江別ケアパークそよ風	10	9.0
4	デイサービスセンターわかぐさ	9	7.6	4	デイサービスセンターのぞみ	9	8.1
5	デイサービスセンター友愛江別	8	6.8	5	デイサービスきたえる〜む野幌	8	7.2
-	その他の事業所	60	50.8	-	その他の事業所	61	55.0
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間で運動に特化したデイサービスを希望される方が多く、送迎範囲も広い。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	デイサービスきたえる〜む野幌	92	33.3	1	デイサービスきたえる〜む野幌	88	34.1
2	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	24	8.7	2	静苑ホームデイサービスセンター友愛野幌	22	8.5
3	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	18	6.5	3	デイサービスセンターみのりの丘野幌	18	7.0
4	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ上江別	17	6.2	4	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ上江別	15	5.8
5	デイサービスセンターみのりの丘野幌	16	5.8	5	デイサービスセンター花こぶし	13	5.0
-	その他の事業所	109	39.5	-	その他の事業所	102	39.5
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間で運動できる通所サービスのニーズが多くあるため。			

大塚第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	デイサービスきたえる〜む野幌	60	30.5	1	デイサービスきたえる〜む野幌	55	29.7
2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	30	15.2	2	リハビリ特化型デイサービスカラダラボ江別文京台	32	17.3
3	デイサービスひだまり	26	13.2	3	デイサービスセンターいきいき	24	13.0
4	デイサービスセンターいきいき	19	9.6	4	デイサービスひだまり	17	9.2
5	デイサービスセンターみのりの丘	9	4.6	5	デイサービスセンターみのりの丘野幌	9	4.9
-	その他の事業所	53	26.9	-	その他の事業所	48	25.9
件数が最も多い事業所の選択理由				短時間で運動をしたいという希望が多く、体験利用をされて契約をする方が多い。サービスの内容で決める方が多い。			

【 3 介護予防通所リハビリテーション】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	老健のつぼろ	3	25.0	1	介護老人保健施設はるにれ	3	27.3
2	介護老人保健施設はるにれ	2	16.7	2	老健のつぼろ	2	18.2
3	介護老人保健施設ゆう	2	16.7	3	介護老人保健施設ゆう	2	18.2
4	老人保健施設友愛ナーシングホーム	1	8.3	4	老人保健施設友愛ナーシングホーム	1	9.1
5	葵の園・江別通所リハビリセンター	1	8.3	5	葵の園・江別通所リハビリセンター	1	9.1
-	その他の事業所	3	25.0	-	その他の事業所	2	18.2
件数が最も多い事業所の選択理由				要支援認定者の新規受け入れを行っており、機能訓練と趣味活動をバランス良く実施している。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	医療法人やわらぎ介護老人保健施設ゆう	4	40.0	1	医療法人やわらぎ介護老人保健施設ゆう	3	37.5
2	介護老人保健施設 はるにれ	3	30.0	2	介護老人保健施設 はるにれ	2	25.0
3	老健のつぼろ	2	20.0	3	老健のつぼろ	2	25.0
4	デイケアセンターおおあさ	1	10.0	4	デイケアセンターおおあさ	1	12.5
5			0.0	5			0.0
-	その他の事業所		0.0	-	その他の事業所		0.0
件数が最も多い事業所の選択理由				リハビリスタッフがが多く、パワーリハビリや短時間の利用、送迎範囲の広さなど、調整が付きやすいため。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	老健のつぼろ通所リハビリステーション	10	23.8	1	老健のつぼろ通所リハビリステーション	9	23.1
2	介護老人保健施設友愛ナーシングホーム	9	21.4	2	介護老人保健施設友愛ナーシングホーム	9	23.1
3	介護老人保健施設はるにれ	9	21.4	3	介護老人保健施設はるにれ	7	17.9
4	葵の園・江別通所リハビリテーション	4	9.5	4	江別谷藤病院通所リハビリテーション	6	15.4
5	江別谷藤病院通所リハビリテーション	4	9.5	5	葵の園・江別通所リハビリテーション	4	10.3
-	その他の事業所	6	14.3	-	その他の事業所	4	10.3
件数が最も多い事業所の選択理由				要支援を断らず、リハビリも入浴もでき、利用時間の選択も可能なため。			

大塚第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	デイケアセンターおおあさ	16	39.0	1	デイケアセンターおおあさ	16	42.1
2	介護老人保健施設はるにれ	15	36.6	2	介護老人保健施設はるにれ	13	34.2
3	医療法人中山会新札幌バウロ病院通所リハビリテーションふる里	3	7.3	3	江別谷藤病院	3	7.9
4	厚別老人保健施設ディ・グリュネンデイケア	2	4.9	4	厚別老人保健施設ディ・グリュネンデイケア	1	2.6
5	老人保健施設友愛ナーシング	1	2.4	5	老人保健施設友愛ナーシング	1	2.6
-	その他の事業所	4	9.8	-	その他の事業所	4	10.5
件数が最も多い事業所の選択理由				サービス内容(提供時間、個別リハビリ、職員の対応)が良いという声が多い。他事業所と比べ施設内の移動距離が短く安心感がある。希望する曜日で対応してくれる。近くの事業所を希望される。他の事業所では入浴の対応をしていない。			

【 4 介護予防福祉用具貸与】

江別第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	63	37.5	1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	63	40.1
2	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	31	18.5	2	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	29	18.5
3	ピースケアサポート	20	11.9	3	ピースケアサポート	17	10.8
4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	14	8.3	4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	14	8.9
5	株式会社北海道フォレスト	11	6.5	5	株式会社北海道フォレスト	12	7.6
-	その他の事業所	29	17.3	-	その他の事業所	22	14.0
件数が最も多い事業所の選択理由				地域密着で柔軟・迅速に対応しており、細かな調整も行っている。住宅改修工事は事業者内で見積りしてくれ、スムーズな対応ができています。			

江別第二地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	有限会社丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	40	49.4	1	有限会社丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	40	47.6
2	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	15	18.5	2	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	15	17.9
3	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	9	11.1	3	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	8	9.5
4	ニック株式会社北海道中央営業所	4	4.9	4	ニック株式会社北海道中央営業所	7	8.3
5	株式会社北海道フォレスト	3	3.7	5	株式会社フロンティア札幌営業所	3	3.6
-	その他の事業所	10	12.3	-	その他の事業所	11	13.1
件数が最も多い事業所の選択理由				市内の事業所であり、住宅改修や福祉用具の納入など対応も迅速で丁寧なため。			

野幌第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	75	37.7	1	丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	60	34.3
2	株式会社北海道フォレスト	36	18.1	2	株式会社北海道フォレスト	35	20.0
3	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	23	11.6	3	福祉用具事業所ゆうあい	26	14.9
4	福祉用具事業所ゆうあい	18	9.0	4	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	15	8.6
5	ホームマック	11	5.5	5	DCM	7	4.0
-	その他の事業所	36	18.1	-	その他の事業所	32	18.3
件数が最も多い事業所の選択理由				市内の事業所で対応が早く、福祉用具の知識が豊富で、住宅構造にも詳しいため。			

大塚第一地域包括支援センター

9月実績

3月実績

順	事業所名称	件数	(%)	順	事業所名称	件数	(%)
1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	59	37.6	1	福祉用具貸与事業所ネグきしもと	56	38.1
2	有限会社丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	45	28.7	2	有限会社丸東ユニバーサルサービス福祉用具貸与センター	44	29.9
3	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	19	12.1	3	株式会社マルベリーさわやかセンター札幌東	17	11.6
4	株式会社フロンティア札幌営業所	16	10.2	4	株式会社フロンティア札幌営業所	13	8.8
5	エミヤライフケア株式会社	5	3.2	5	エミヤライフケア株式会社	4	2.7
-	その他の事業所	13	8.3	-	その他の事業所	13	8.8
件数が最も多い事業所の選択理由				利用者や家族からの希望。利用者宅から近い。相談から対応までの時間が短い。大塚での知名度が他事業所より高い。柔軟に対応してくれる。			

地域密着型施設の入所状況(令和2年度)

参考資料1-4

■グループホーム

(各月1日現在)

圏域	事業所名称	定員	入居者												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
江別	グループホームひまわりの郷	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	英生会グループホームゆめみの	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	17	16	18
	ニチイケアセンター江別	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	グループホームそるぶす豊幌	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18
	グループホーム江別ケアパークそよ風	18	18	17	18	18	17	17	18	18	18	18	17	17	18
	グループホーム北海ハウスみずほ館	18	16	17	18	18	18	18	17	18	17	18	18	18	18
	グループホームほのぼのさくら	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9	8	7	8	9
	グループホームゆうあい	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	16	17	18	18
	グループホームたんぼぼ江別東光館	18	18	18	17	18	18	17	17	16	17	17	17	17	17
野幌	ふれあいの里グループホーム野幌	18	17	18	18	16	17	18	18	17	18	18	17	17	17
	グループホーム若葉	18	17	17	18	18	18	17	18	18	18	18	17	18	18
	グループホームこもれび	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
大麻	グループホームななかまど大麻	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9
	グループホームひだまり	18	18	18	17	18	18	18	18	18	17	18	17	18	18
	グループホームグッドケア・大麻新町	18	17	18	16	17	17	17	17	17	18	18	18	18	17
	グループホーム冬桜	18	18	18	18	18	17	18	18	17	17	18	17	17	18
	グループホームぬくもり	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	18	18	18
	グループホームえべつ	18	17	17	17	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18
計		306	298	301	301	303	302	301	303	299	301	301	296	297	300

※ グループホームえべつは、令和2年5月11日に、江別から大麻に移転しております。(3条1丁目5番地→大麻桜木町26番地の5)

■地域密着型特定施設

野幌	介護付有料老人ホーム蓮音	29	29	29	29	29	29	29	27	28	27	27	27	28	28
----	--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

■地域密着型介護老人福祉施設

野幌	地域密着型介護老人福祉施設かつこうの杜	29	28	28	29	29	29	29	27	29	28	28	29	29	29
江別	江別地域複合型ライフケアセンター夢つむぎ	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	29	28	29
計		58	57	57	58	58	58	58	56	58	56	56	58	57	57